

第1章 「第2次留萌市健康づくり計画」中間評価の策定にあたって

1. 中間評価の趣旨

留萌市健康づくり計画は、市民一人ひとりが健康で生きがいのある生活を送ることができるよう、平成20年3月に策定し、平成29年3月には「いきいき健康 増やそう笑顔」をスローガンに、第2次留萌市健康づくり計画を策定しました。

計画策定後の社会情勢としては、急速にすすむ少子高齢化、生活様式の変化などにより、医療や介護が必要な人の増加、虐待対応件数の増加などが深刻な社会問題となっています。また、地震や大雨など大きな災害、令和2年には、新型コロナウイルス感染症が世界的に大流行し、わたしたちの心身の健康や生活に大きな影響をもたらしました。特に、ストレスの増大、健康や生活への不安などから自殺者の増加が大きな社会問題となり、自殺予防対策の推進が一層重要となりました。令和3年には新型コロナワクチン接種が開始となりましたが、未だ収束しておらず、未曾有の事態の只中にあります。

当市では、第2次留萌市健康づくり計画をもとに、市民の健康増進と保健予防を推進するため、地域活動を行っている方々との協働、関係機関との連携を図りながら、取り組みを進めてまいりました。取り組みとしては、疾病予防や早期発見・治療につながるよう健診体制の整備、健康寿命に直結する慢性腎臓病重症化予防対策事業の実施、ゲートキーパー養成研修やこころの健康づくり講演会などの自殺予防対策、虐待予防・少子化対策など、あらゆる分野で健康づくりを推進してきました。

計画期間は令和8年度までの10年間で、目標の達成状況は最終年度（令和8年度）に評価しますが、社会情勢は常に変化しており、計画策定から5年目を迎えた今年度（令和3年度）、中間評価を行いました。中間評価では、本計画の前半を振り返り、目標の達成状況や事業の推進状況を確認、今後の方策や評価指標、目標設定などの見直しを実施しました。今回の中間評価は、新型コロナウイルス感染症の流行時期に行ったため、統計や健康データ、市民アンケート調査結果にも影響を及ぼしており、このような状況も考慮しながら評価を行いました。

今回の中間評価の結果をもとに、最終年度（令和8年度）の目標達成に向けて、さらに健康づくりを推進し、市民一人ひとりが生涯を通してこころ豊かで健やかな生活を送るため、個人、家庭、地域、学校、職場などが、ともに力を合わせ健康づくりの推進に取り組むことを目指します。

2. 中間評価の方法

- (1) 市民を対象に、留萌市健康づくり計画アンケート調査の実施。
- (2) アンケート結果と留萌市の統計、健康に関するデータから、目標達成の分析。
※構成比は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が必ずしも100%にはならない。
- (3) 重点項目の6分野（生活習慣病・がん（悪性新生物）、食生活・栄養、身体活動・運動、歯と口腔の健康、たばこ・アルコール、休養・こころの健康）ごとに、現状を分析し、5年間の取り組みを評価し、課題を抽出。最終評価に向けて、今後の方策や評価指標、目標値を見直した。
- (4) 関係機関・関係団体の専門家及び市民代表で構成する「留萌市健康づくり計画策定委員会」にて、幅広いご意見をいただき、評価に反映。
- (5) パブリックコメントを行い、市民の意見を募集し、評価に反映。